

4. 地域住民の食と農に関する意識の把握（事後調査）

食育活動を実施した結果、消費者にどのような意識の変化が見られたかを検証した。消費者への介入度合による行動変容、意識の変化も合わせて分析した。

モニターのカテゴリー

（イベントモニター）

店舗で実施する食育プログラムに参加し、かつ食育情報誌を受け取り、アンケート調査（事前・事後）にも協力するモニター（40人）

（情報誌モニター）

情報誌を受け取り、アンケート調査（事前・事後）に協力するモニター（80人）

（アンケートモニターC）

アンケート調査（事前・事後）のみ協力するモニター（80人）

食と農に関する意識調査（事後調査）

調査日：平成27年2月

対象店舗：んめ～べ（福島県）

しよいか～ご千葉店・習志野店（千葉県）

南部じまん市（静岡県）

でんまあと（愛知県）

ちゃんぷる～市場（沖縄県）

調査対象者：事前アンケート調査回答者

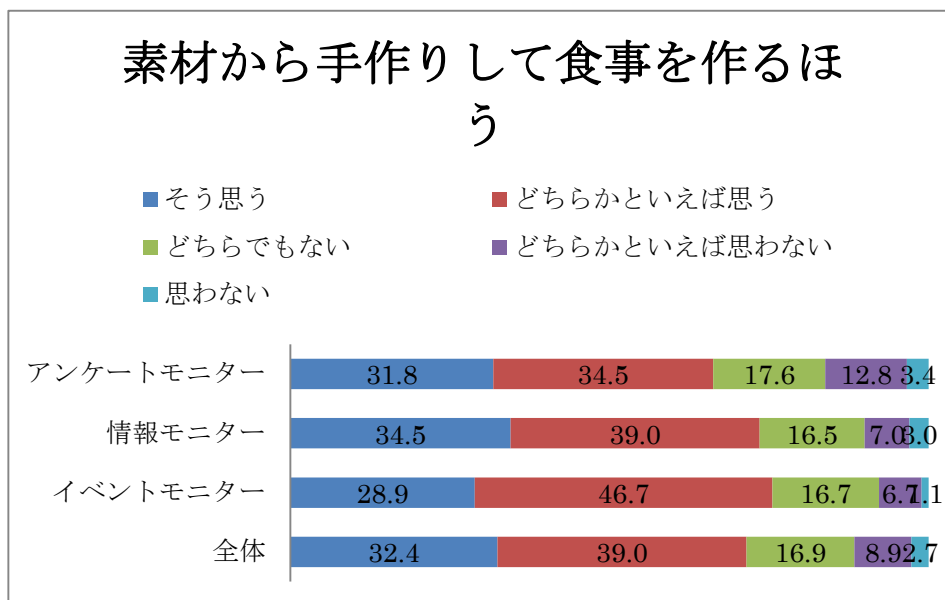
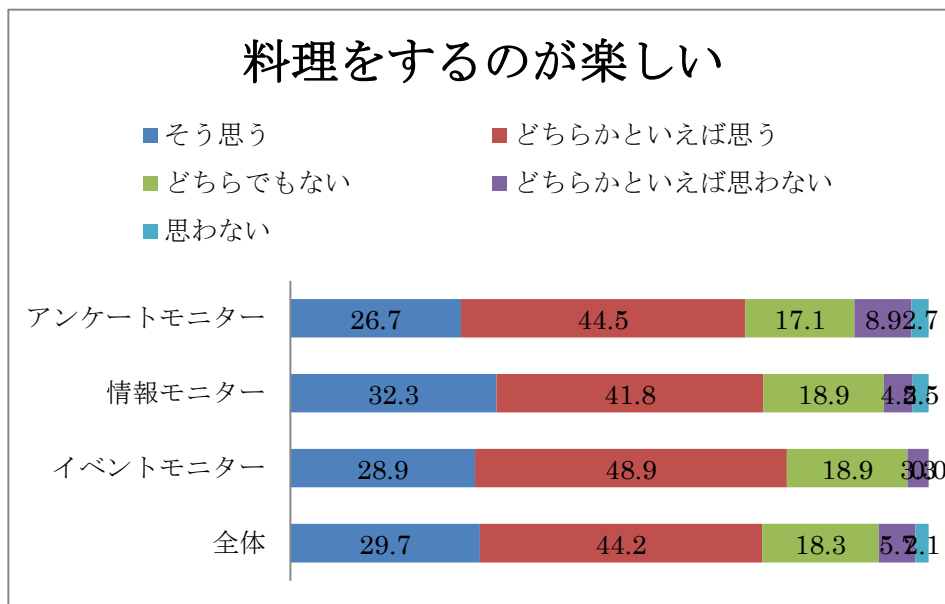
回収数：441人

上段:度数 下段:%	合計	イベントモニター	情報モニター	アンケートモニター
全体	441	90	203	148
	100	20.4	46	33.6
んめ～べ	83	13	39	31
	100	15.7	47	37.3
しよいか～ご	108	12	49	47
	100	11.1	45.4	43.5
南部じまん市	99	32	41	26
	100	32.3	41.4	26.3
でんまあと	100	21	50	29
	100	21	50	29
ちゃんぷる～市場	51	12	24	15
	100	23.5	47.1	29.4

効果検証

事業の成果目標	成果目標の考え方と目標値の根拠
・食や農林水産業への理解が深まった者の割合	30% 一連の流れの中で食材の価値を知り、食と農業を身近に感じる取組を行うことで効果が期待できる
・和食や地域の食文化に関する理解が深まった者の割合	30% 食文化や食のコミュニケーション力などを伝え郷土に愛着を感じるものが増える
・栄養バランスに配慮した食生活を送っているものの割合	20%増加 食の大切さを知り毎日の食生活で実践できるように支援することで効果が期待できる

普段の食生活環境



美味しければ手作りにこだわらない

- そう思う
- どちらかといえば思う
- どちらでもない
- どちらかといえば思わない
- 思わない



家事はできるだけ効率化したい

- そう思う
- どちらかといえば思う
- どちらでもない
- どちらかといえば思わない
- 思わない

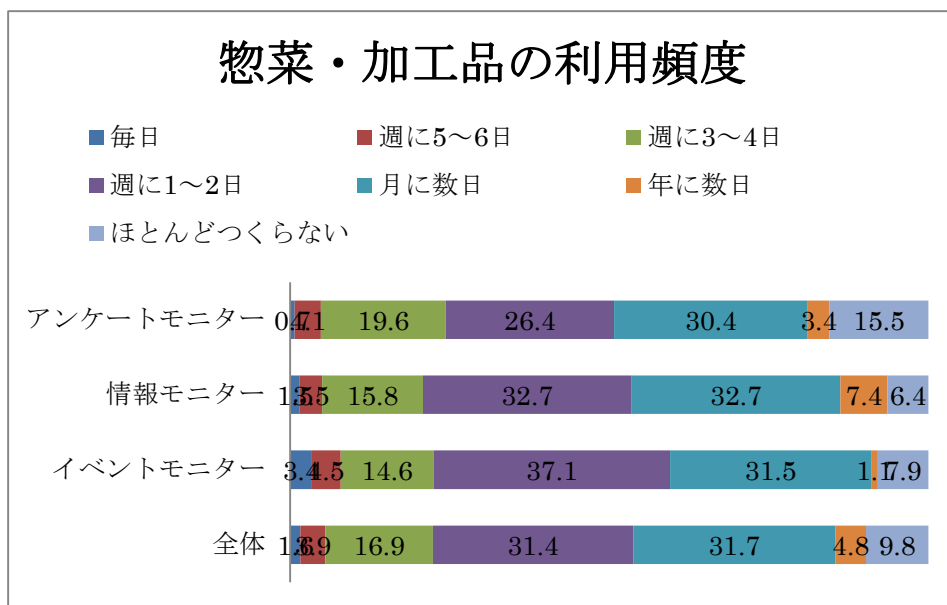
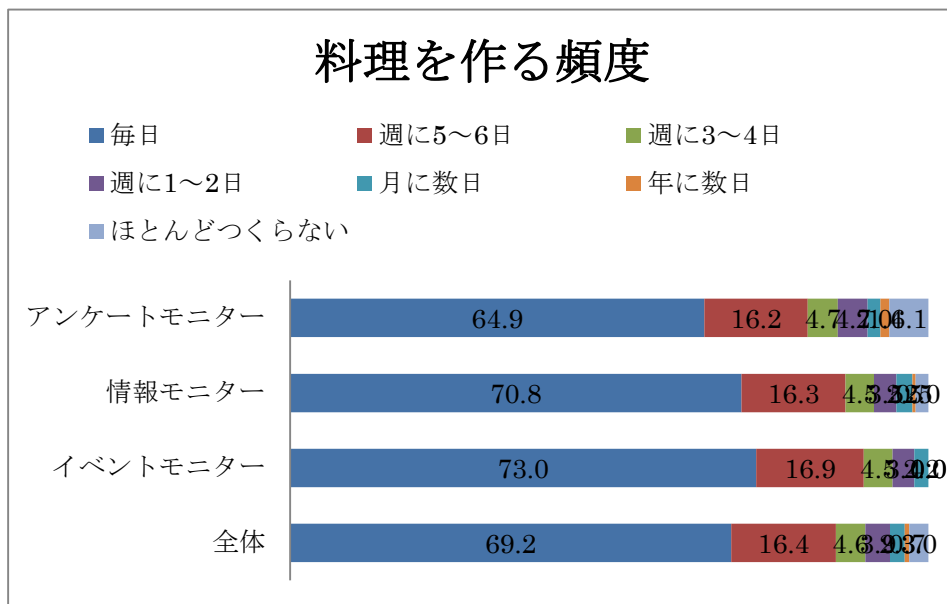


食材の買い物は楽しい

- そう思う
- どちらかといえば思う
- どちらでもない
- どちらかといえば思わない
- 思わない



事前、事後について「そう思う」「どちらかといえば思う」の変化を見てみると、「料理するのが楽しい」(66.5%→73.9%)、「食材の買い物は楽しい」(81%→84%)の項目が増加している。



外食の利用頻度

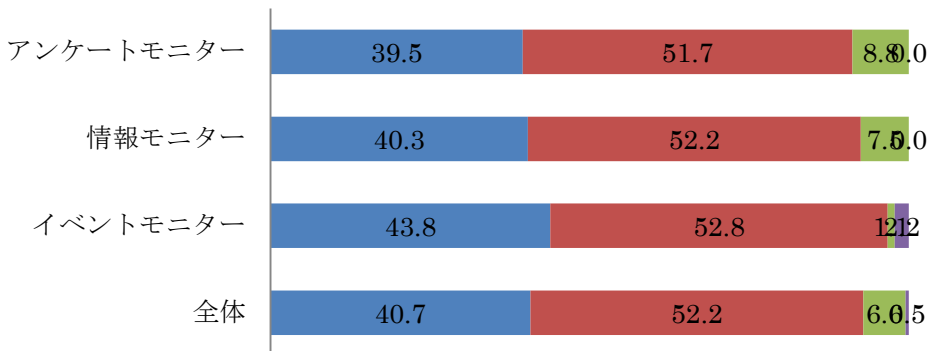
- 毎日
- 週に5~6日
- 週に3~4日
- 週に1~2日
- 月に数日
- 年に数日
- ほとんどつukらない



食料（食文化）と農林水産業

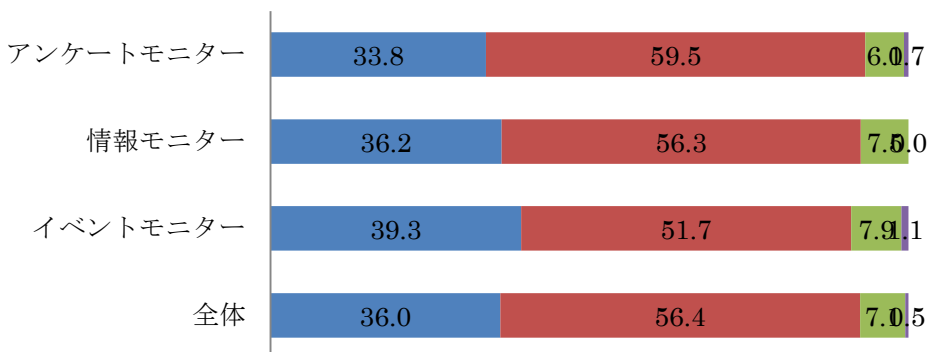
地元野菜や果物の知識

- 知っているほうだ
- ある程度知っている
- あまり知らない
- 全く知らない



地元野菜や果物の旬

- 知っているほうだ
- ある程度知っている
- あまり知らない
- 全く知らない



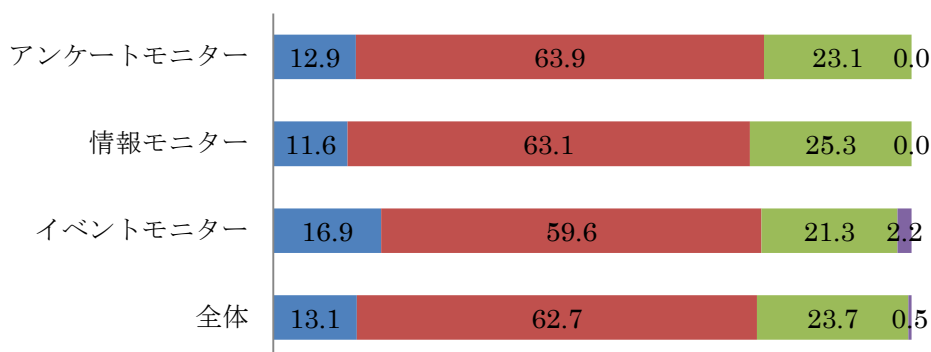
何をどれだけ食べたらいいか

■知っているほうだ ■ある程度知っている
■あまり知らない ■全く知らない



地元野菜や果物の保存方法

■知っているほうだ ■ある程度知っている
■あまり知らない ■全く知らない



健康に配慮した料理方法

■知っているほうだ ■ある程度知っている
■あまり知らない ■全く知らない



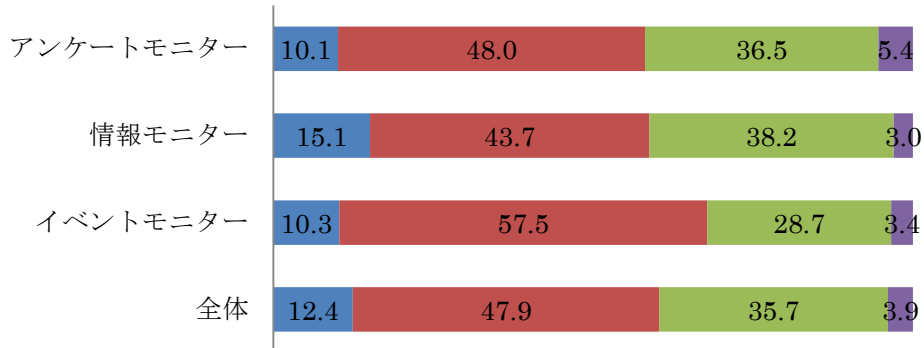
郷土料理・伝統料理

■ 知っているほうだ ■ ある程度知っている
■ あまり知らない ■ 全く知らない



食品の廃棄を減らす方法

■ 知っているほうだ ■ ある程度知っている
■ あまり知らない ■ 全く知らない



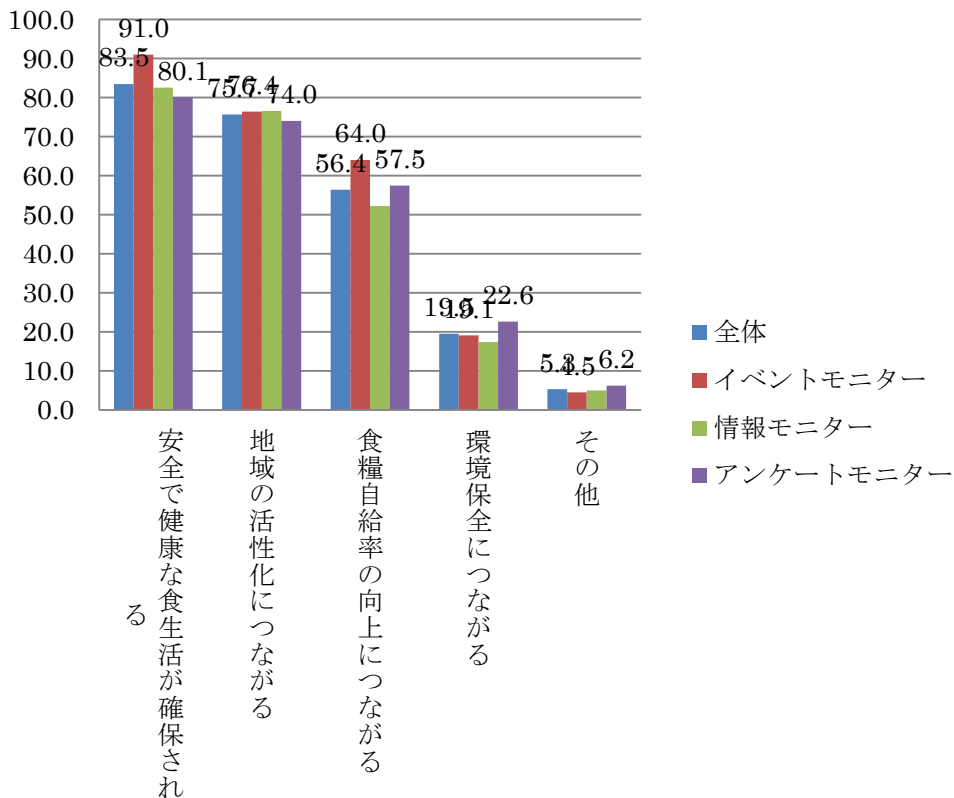
「地元野菜や果物の知識」や「何をどれだけ食べたらいいのか」「健康に配慮した料理方法」「食品廃棄を減らす方法」などはイベントモニターの知識が深まっていることがわかる。食育活動の介入度合が高いほど、健康面や環境への意識に効果がみられた。

購入時、国産、地元産を重視する

- 重視する
- ある程度重視する
- どちらともいえない
- あまり重視しない
- 全く重視しない

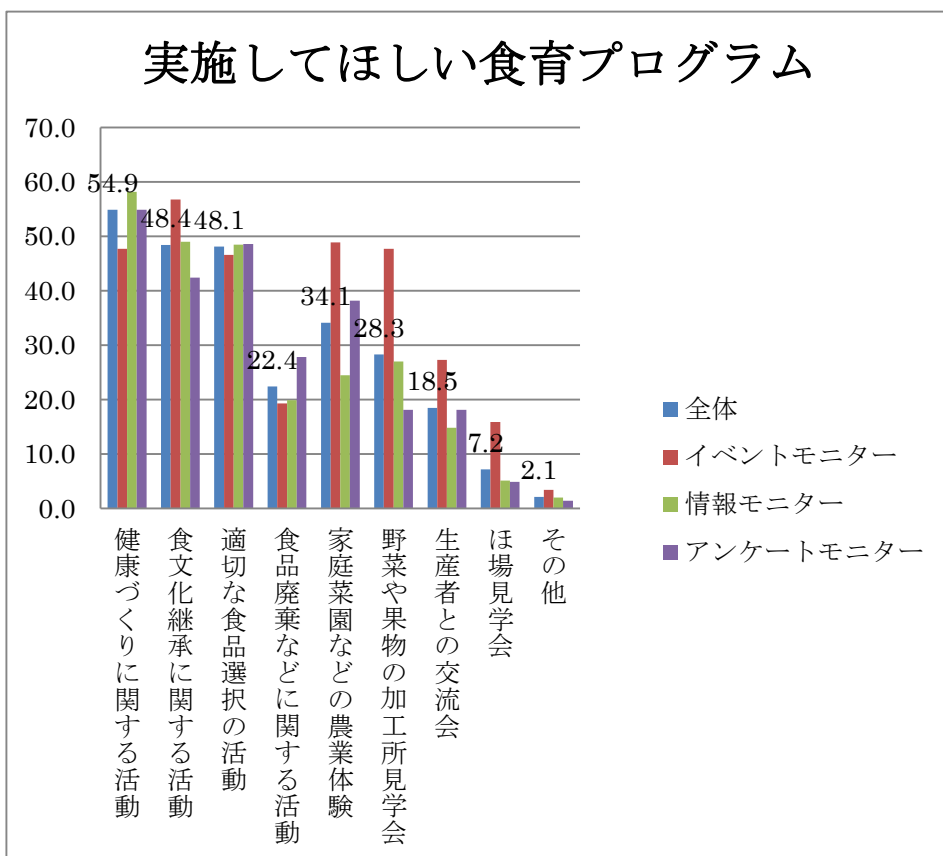
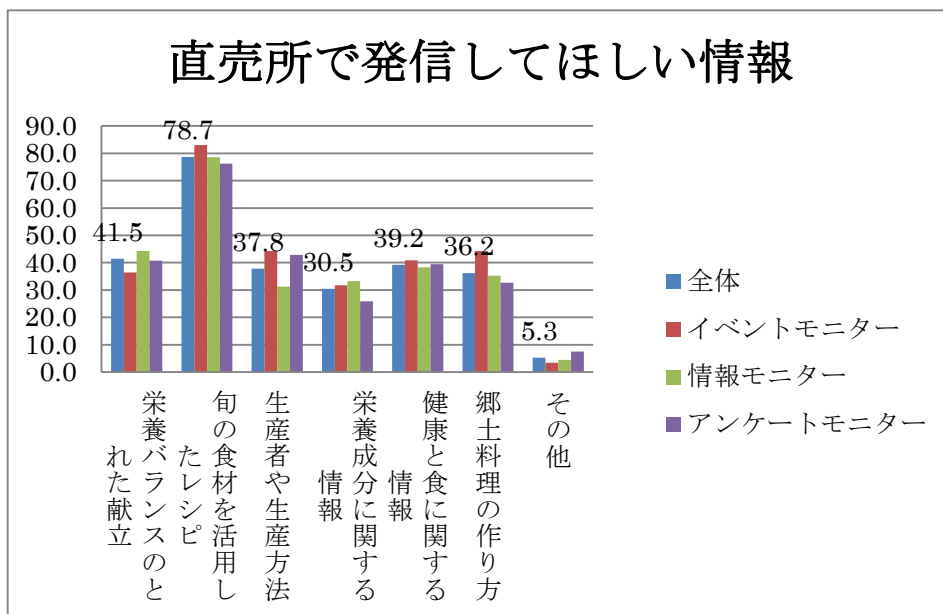


地場食材を購入することでの影響について



タイプ別にみると、イベントモニターは他のモニターと比べ、国産、地場産志向が強まっている。また、自分の買い物行動による影響についても、「安全で健康的な食の確

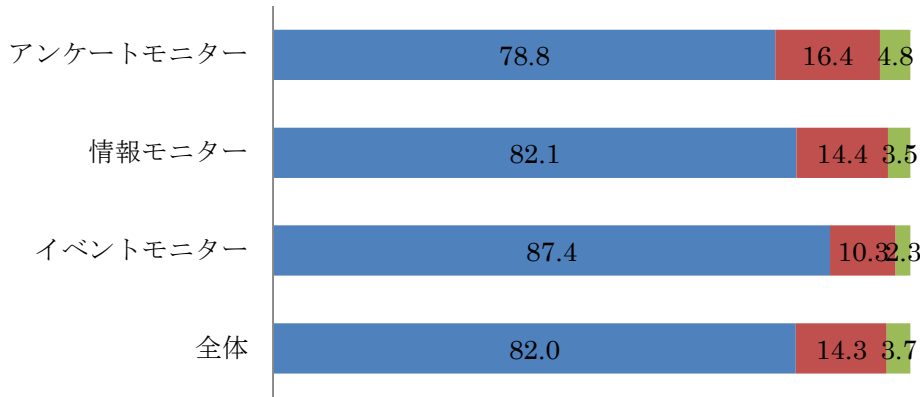
保」「地域活性化」「食糧自給率の向上」などについてイベントモニターは強く感じている。



情報発信や食育プログラムの実施など、イベントモニターは他のモニターに比べ要望が多く、意欲が高いことがわかる。

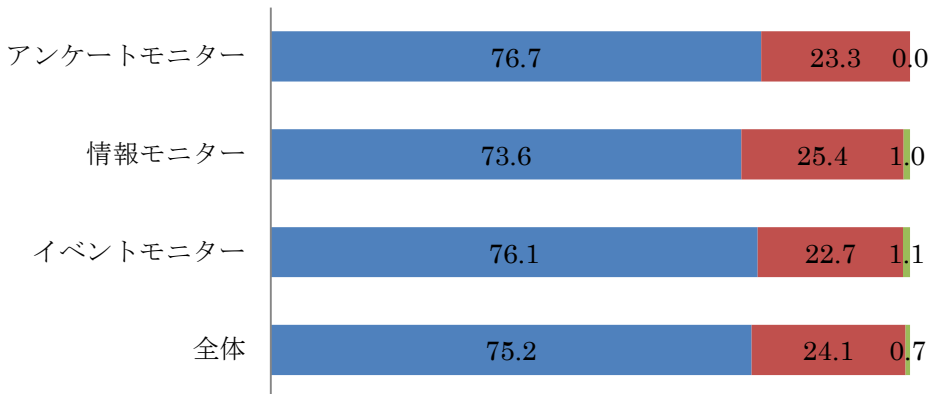
規則正しく3度食事をする

■ 実践している ■ 実践できない ■ 気にしない



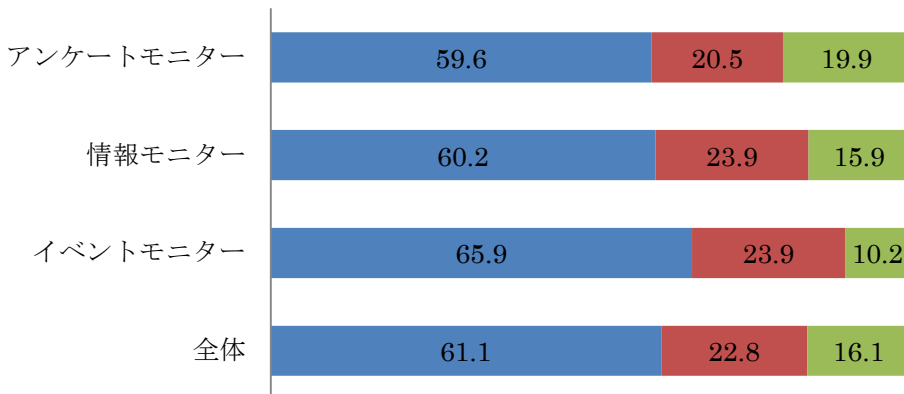
野菜を多く食べる

■ 実践している ■ 実践できない ■ 気にしない



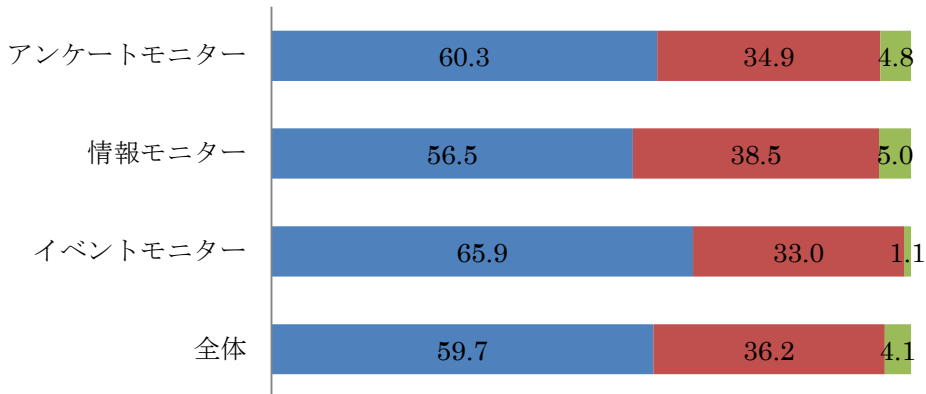
出来るだけ和食を食べる

■ 実践している ■ 実践できない ■ 気にしない



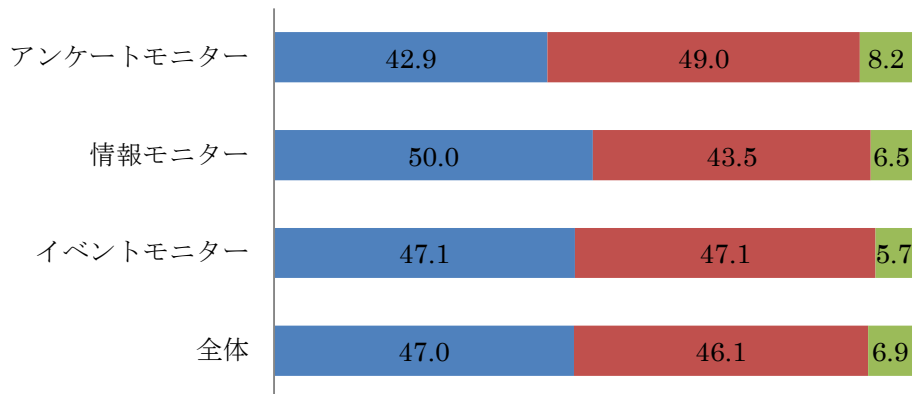
栄養バランスを考えて食べる

■ 実践している ■ 実践できない ■ 気にしない



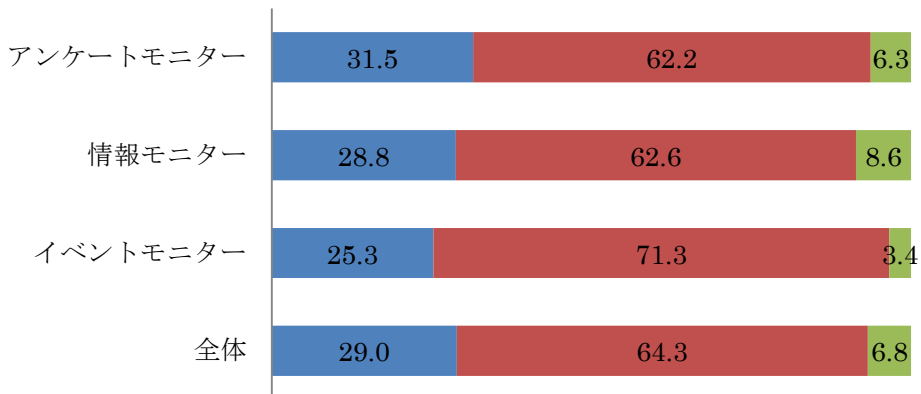
できるだけ多くの食品数を食べる

■ 実践している ■ 実践できない ■ 気にしない



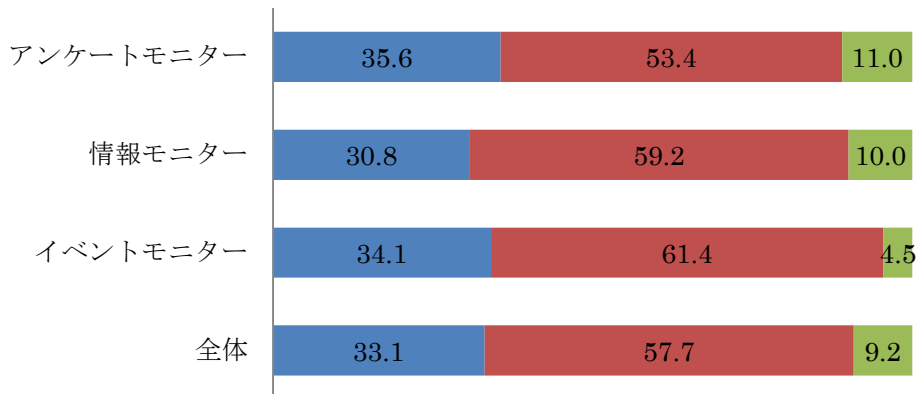
よく噛んで食べる

■ 実践している ■ 実践できない ■ 気にしない



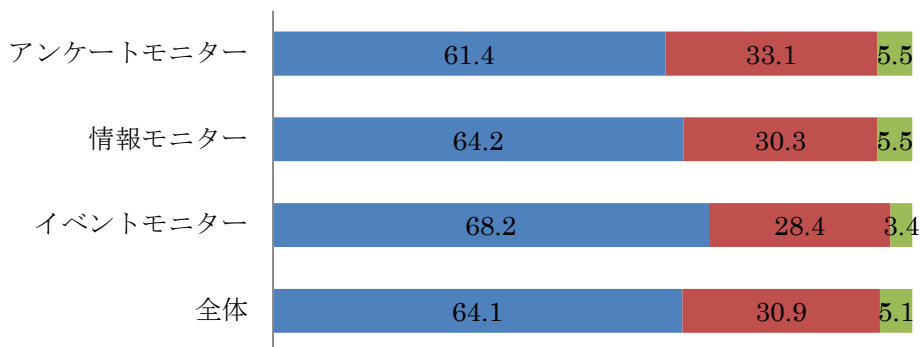
腹八分目を守る

■ 実践している ■ 実践できない ■ 気にしない



主食・主菜・副菜のそろった食事を する

■ 実践している ■ 実践できない ■ 気にしない



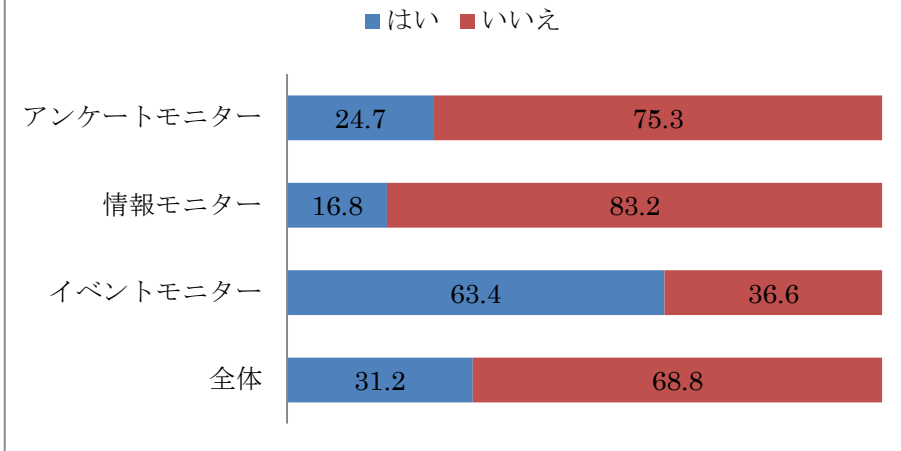
旬の食材を使った料理を食べる

■ 実践している ■ 実践できない ■ 気にしない

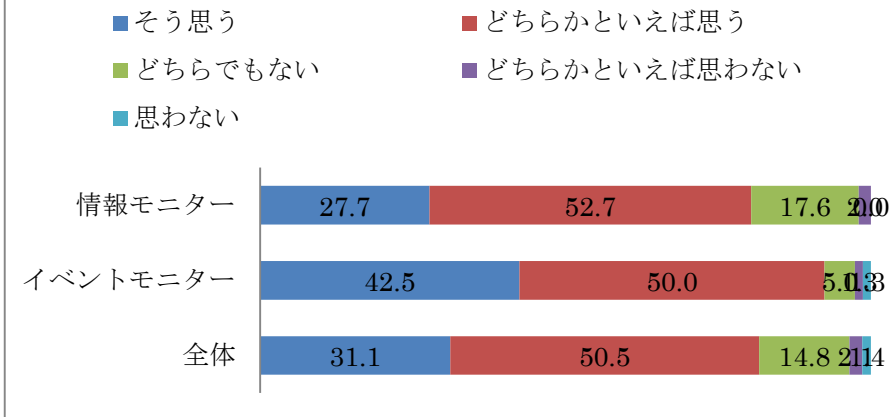


イベントモニターは「規則正しく食べる」「できるだけ和食を食べる」「栄養バランスを考えて食べる」「主食、主菜、副菜のそろった食事を食べる」「旬の食材を使った料理を食べる」など食の質に関する意識が高いことが分かる。

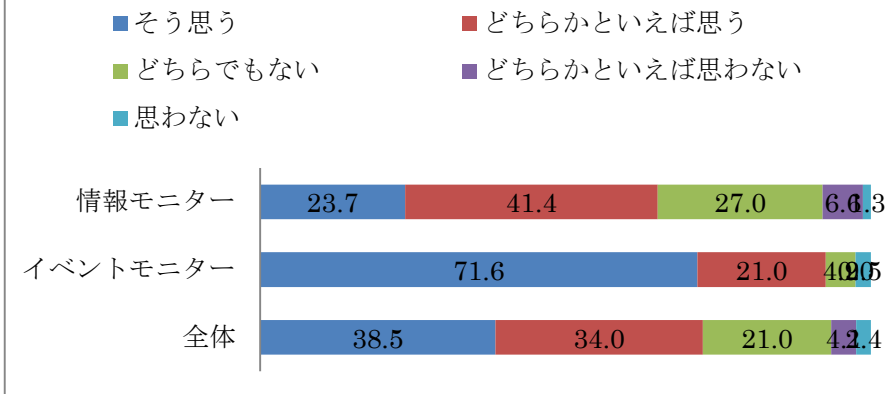
イベントに参加した



情報誌や食育プログラムから直売所の活動を知ることができた

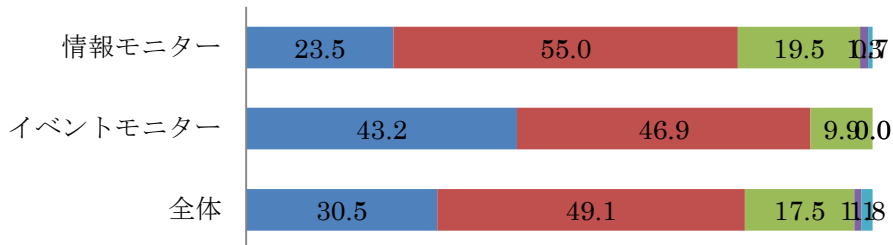


情報誌や食育プログラムから食育活動に参加したいと思った



情報誌や食育プログラムから地域の食文化の知識を得た

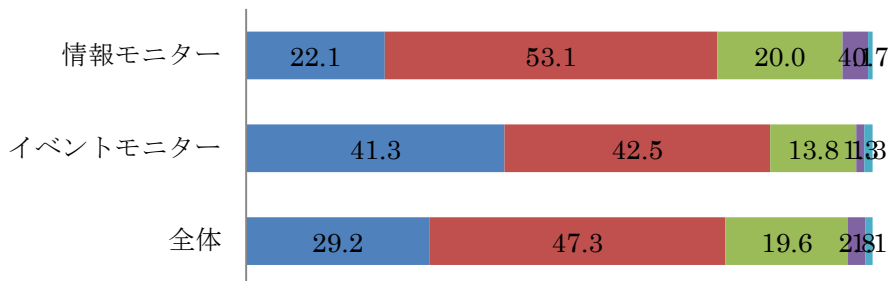
- 思う
- どちらかといえば思う
- どちらでもない
- どちらかといえば思わない
- 思わない



直売所の活動や地域の食文化に対する知識などを得たという回答がほとんどであった。イベントモニターは、他の食育イベントへの参加意欲も高い。

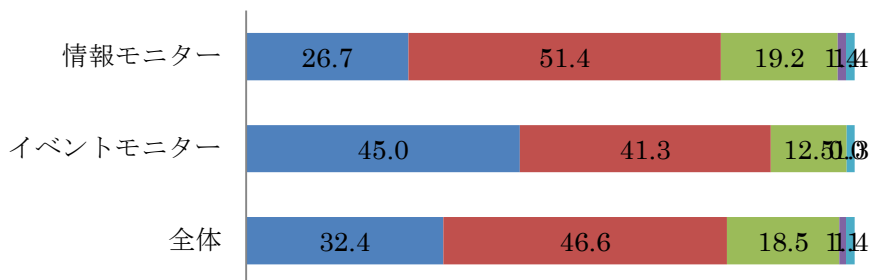
地域食材の調理法の知識が深まった

- 思う
- どちらかといえば思う
- どちらでもない
- どちらかといえば思わない
- 思わない



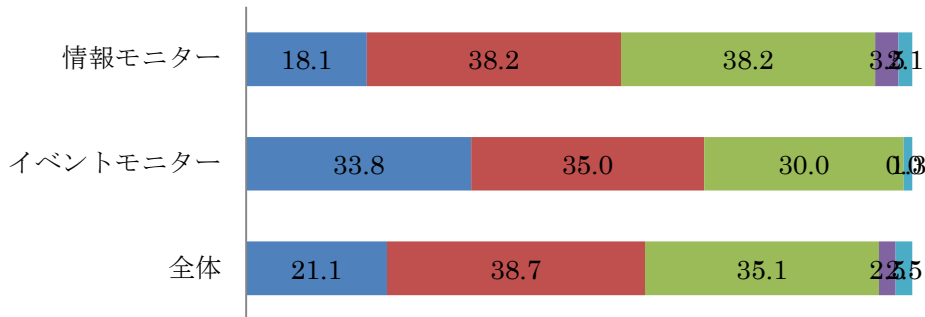
生産の知識が深まった

- 思う
- どちらかといえば思う
- どちらでもない
- どちらかといえば思わない
- 思わない



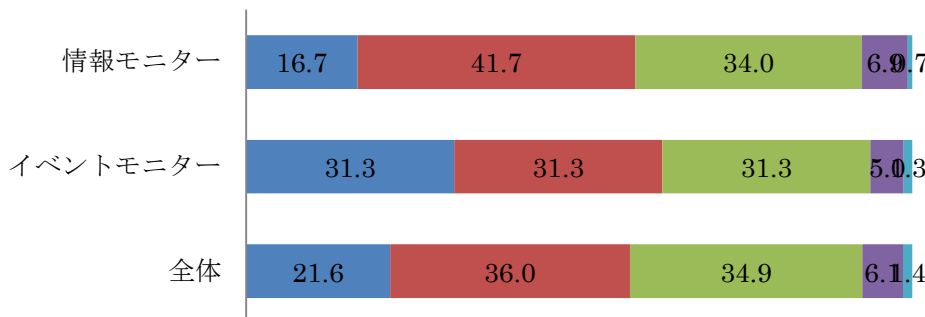
加工・製造についての知識が深まった

- 思う
- どちらかといえば思う
- どちらでもない
- どちらかといえば思わない
- 思わない



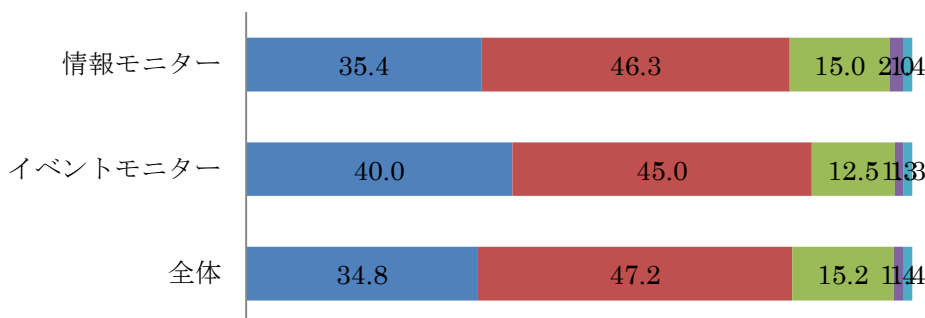
食材の流通についての知識が深まった

- 思う
- どちらかといえば思う
- どちらでもない
- どちらかといえば思わない
- 思わない



食と農のつながりを感じる事ができた

- 思う
- どちらかといえば思う
- どちらでもない
- どちらかといえば思わない
- 思わない



食材の生産、加工、製造、流通、調理方法などについての意識が変わったという回答が多い。また、食と農業へのつながりを感じることができたと回答している人が全体の約8割を占めている。